

■事故の概況

人と車参照



事故類型：人対車両

発生日時：朝

当事者A：軽乗用車 40歳代 女性

当事者B：歩行者 70歳代 男性

■ 事故の概要

Aはいつも通る自宅へ戻るための道路を、速度制限を少しオーバーした時速約50kmで走行していました。左前方路肩付近に方向指示器を出した状態で停車している車両がいましたが、左方にかなり寄っていたことや周囲に人の気配がなかったことから、特に減速をすることなく通過しようとしてしました。

停止車両のすぐ右後方に達したと思った頃、突然車両の陰から横断してきたBに気付きましたが、回避動作をする間もなく衝突しました。

一方、Bは妻の運転する車両に同乗しており、目的地の駐車場が満杯だった為、付近の道路に車を停止してもらい助手席から降車しました。周囲の交通が閑散としていたので、左右の安全を確認せず横断を開始したところ、右方から走行してきたA車と衝突しました。

■ 事故から学ぶ

Aが前方に停車中の車に気付いていながら、十分な安全確認もせず、漫然と通過してしまったことに原因があります。運転者は路肩に停止中の車を発見したら方向指示器やハザードランプの点滅の有無にかかわらず、常に周囲の状況に気を配るとともに安全確認をしっかりと行い、歩行者などの突然の飛び出しに対してもすぐに対応できるよう、適切な速度で運転することが大切です。

歩行者も信号や横断歩道のない道路を横断することがいかに危険なことか、常日頃からしっかりと意識しておきましょう。